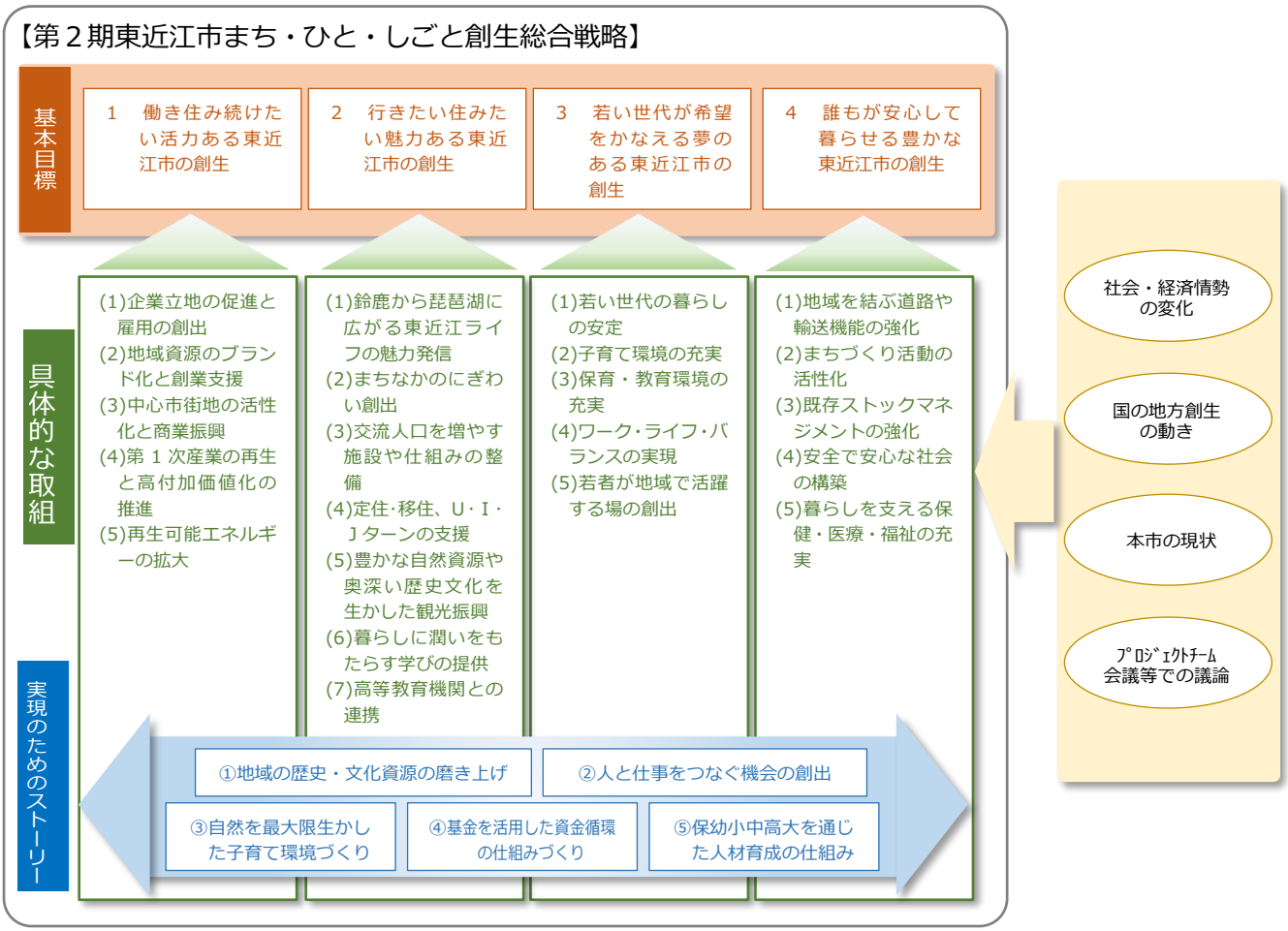
第４章　戦略を実現するためのストーリー

戦略で目指す基本目標を実現するため、関係機関が連携して各施策に取り組むことでその効果の最大化を図ることができると考えます。そこでそれらの施策群をストーリーとして示します。これらは、各施策のつながりを見える化し、役割分担しながら具体的な連携を促すもので、今後東近江市ならではのストーリーが追加されることを期待します。



【戦略を実現するためのストーリー】

ストーリー１　地域の歴史・文化資源の磨き上げ
～歴史・文化の再評価と活用による地域活性化の実現～

ストーリー２　人と仕事をつなぐ機会の創出
～地域の魅力ある産業の活性化と多様な働き方の実現～

ストーリー３　自然を最大限いかした子育て環境づくり
～自然体験型保育・教育を通じた「選ばれる子育て」の実現～

ストーリー４　志のある資金を活用した循環の仕組みづくり
～志のある資金が循環する地域の実現～

ストーリー５　保幼小中高大を通じた人材育成の仕組みづくり
～地域をフィールドにした若者育成環境づくりの実現～

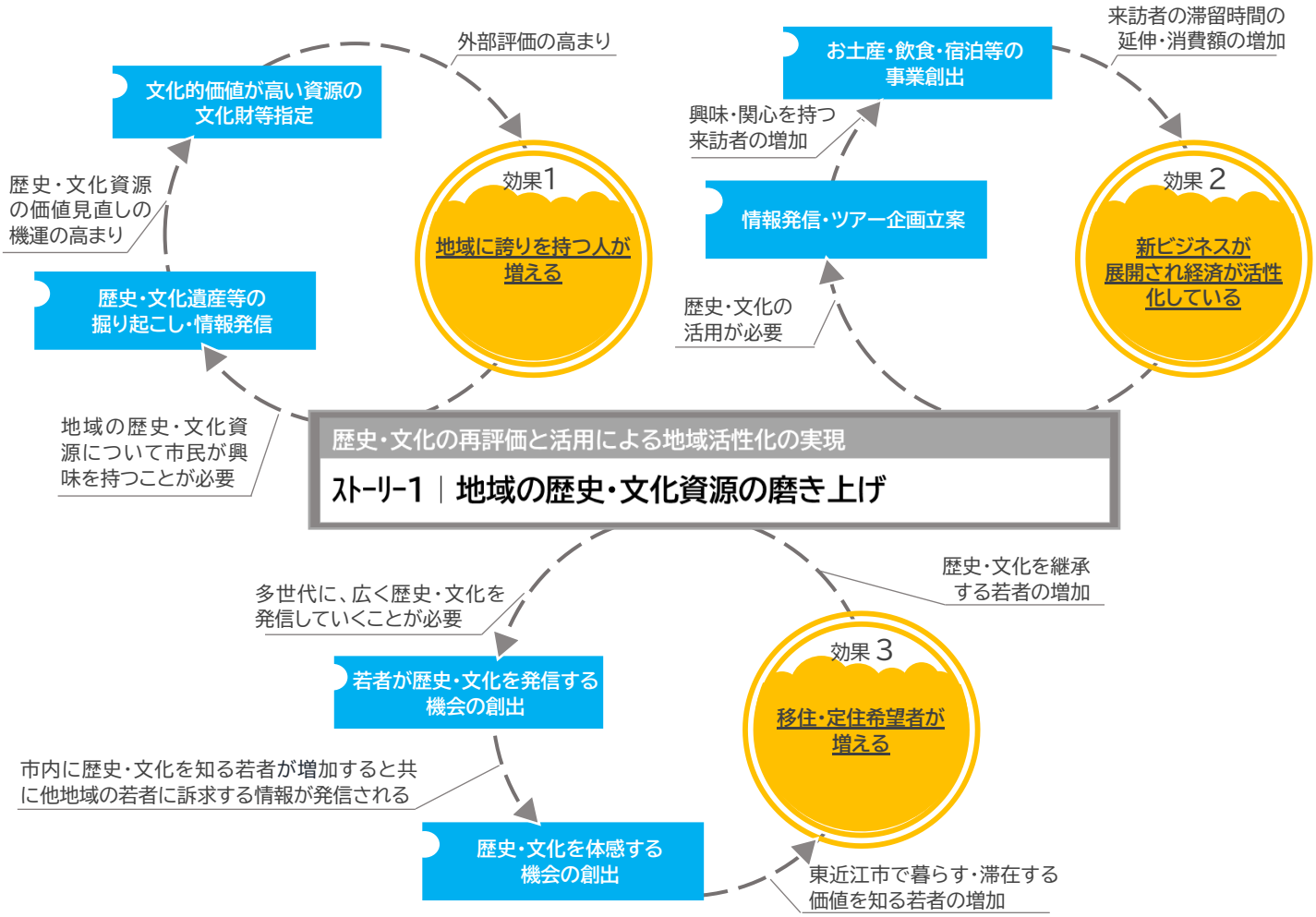
ストーリー１　地域の歴史・文化資源の磨き上げ
～歴史・文化の再評価と活用による地域活性化の実現～

ストーリー１では、東近江市の豊かな「地域の歴史・文化資源の磨き上げ」、次の効果の実現を目指します。

【効果１】地域の歴史・文化資源について、市民が改めて知ることや外部からの評価の高まりを受けることで、地域に誇りを持つ人の増加を目指します。

【効果２】地域の歴史・文化を活用することで来訪者の増加、滞留時間の延伸・観光消費額の増加につなげ、新たなビジネスの展開等により地域経済の活性化を目指します。

【効果３】地域の歴史・文化の次世代への継承が必要であり、とりわけ若者自らが歴史・文化にふれ、発信や体験する機会を創出し、定住・移住の希望者増など関係人口の増加を目指します。



主な取組

○地域情報の発信（シティプロモーション、移住推進ツアー実施、ＰＲブース設置、ご当地キャラクターの活用等）	○宿泊施設の誘致	○東近江市フットパスプロジェクトの推進
○東近江市エコツーリズム推進全体構想の策定及び推進	○びわこ東近江　SEA TO SUMMIT の開催	○日本遺産の情報発信と活用
○愛知川に清流を取り戻す取組を関係機関と連携して実施	○総合博物館構想の検討	○若い世代のためのサードプレイス創出支援
○医療ツーリズムの推進	○体験プログラムイベントの実施	○民泊推進体制の整備
○観光モニターツアーの開催	○地域づくり人材の育成	○木地師のふるさと発信事業
○観光物産キャンペーンの実施	○東近江市「近江匠人」認証制度の普及推進	○木地師の歴史的価値の再評価（木地師のふるさと発信事業）
○景観形成重点地区の指定	○東近江市 100 年の森づくりビジョンの推進	○鈴鹿 10 座保全・活用プランの推進
○自転車誘客の推進（ビワイチプロジェクト）	○保幼小中高と連携した地域教育の推進	○歴史的資源を活用した分散型ホテルの整備
○新八日市駅等地域のシンボル施設の歴史的価値の再認識・発信	○近江鉄道線の活性化と利便性向上の検討	○八日市駅前の整備推進
○能登川駅前の整備推進	○新八日市駅舎及び駅周辺整備	○太郎坊宮前駅広場及び自転車駐車場の整備

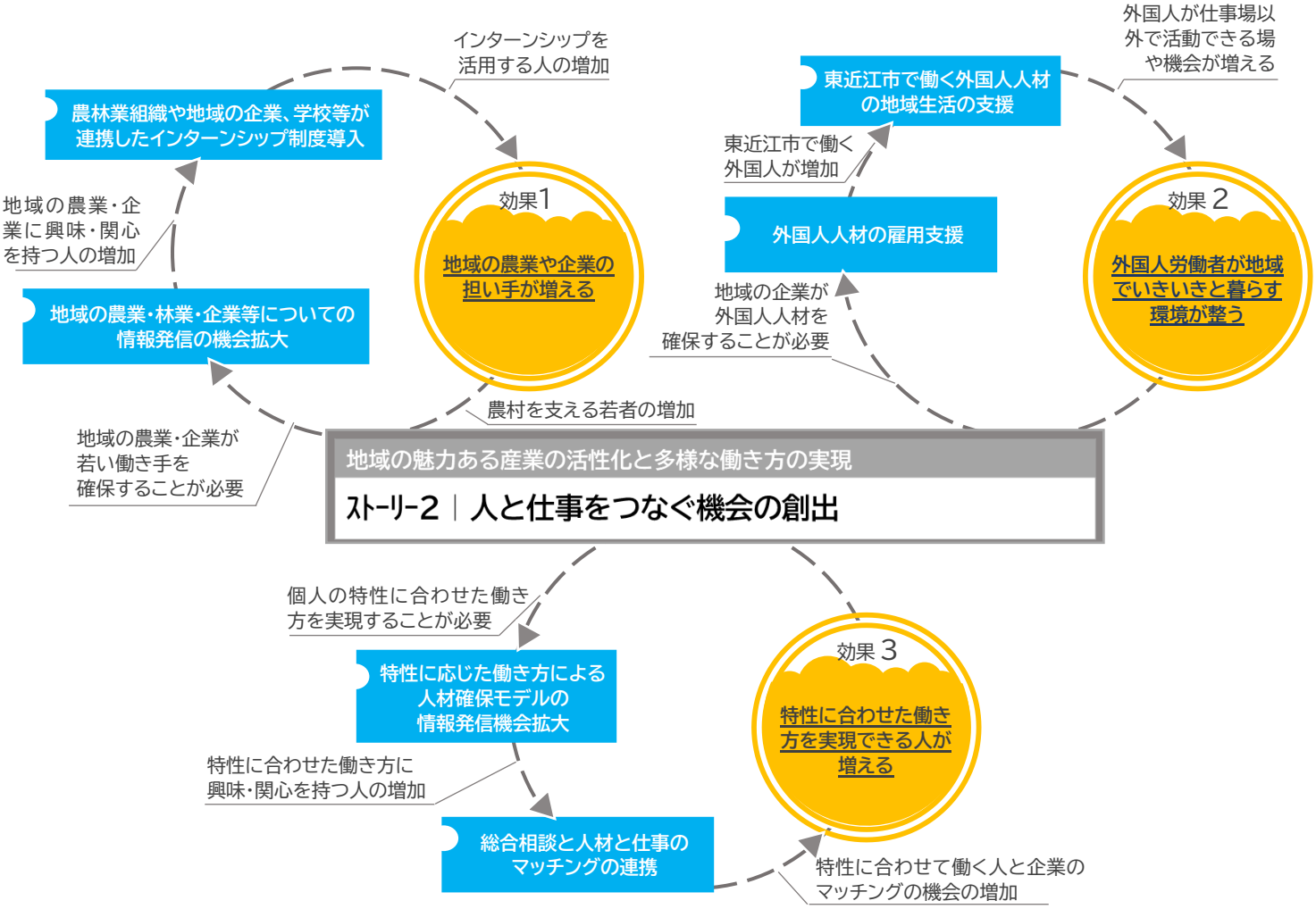
ストーリー２　人と仕事をつなぐ機会の創出
～地域の魅力ある産業の活性化と多様な働き方の実現～

ストーリー２では、地域の魅力ある仕事に取り組む人と働きたいと考える人をつなぐ機会を創出し、次の効果の実現を目指します。

【効果１】農業を含む地域の企業等が若い働き手を確保するため、地域の農業や企業についての情報を発信し、若い世代への訴求を図るとともに、インターンシップ制度を導入する等、仕事を「体験」できる機会を創出し、地域産業の担い手となる若者の増加を目指します。

【効果２】企業等での働き手を確保するため、外国人人材の雇用に向けた取り組みや、地域での生活を支援することにより、外国人労働者が地域でいきいきと暮らせる環境の創出を目指します。

【効果３】個人の特性に合わせた働き方の成功事例等について情報発信を行い、個人と企業に周知を図るとともに、仕事を求める人と、人材を求める企業のマッチングのための総合相談や無料職業紹介など関係機関が連携を進め、特性に合わせた働き方が実現できる人の増加を目指します。



主な取組

- ○しごとづくり応援センターによる就労支援
- ○（仮称）東近江市多文化共生推進プランの策定
- ○外国人労働者の雇用に向けた取組の支援
- ○市内事業所のインターンシップ取組支援
- ○次世代担い手の確保及び育成
- ○保幼小中高と連携した地域教育の推進
- ○手話通訳サービスの充実
- ○近江鉄道線の活性化と利便性向上の検討
- ○就農支援センターの創設
- ○障害者の企業就労や福祉的就労の支援
- ○障害者就労体験事業の推進
- ○新規就農マッチング制度の構築
- ○青年・壮年層の就農給付金
- ○外国人児童生徒等教育支援事業
- ○担い手ネットワークの構築
- ○担い手農家農業設備導入支援
- ○地域おこし協力隊の活動充実
- ○東近江市「近江匠人」認証制度の普及
- ○事業承継希望事業者への支援
- ○ＳＮＳ等を活用した東近江市の農業や企業の紹介
- ○英語教育振興事業
- ○幼児・児童・生徒等を対象とした日本語指導教室の開催

ストーリー３　自然を最大限いかした子育て環境づくり

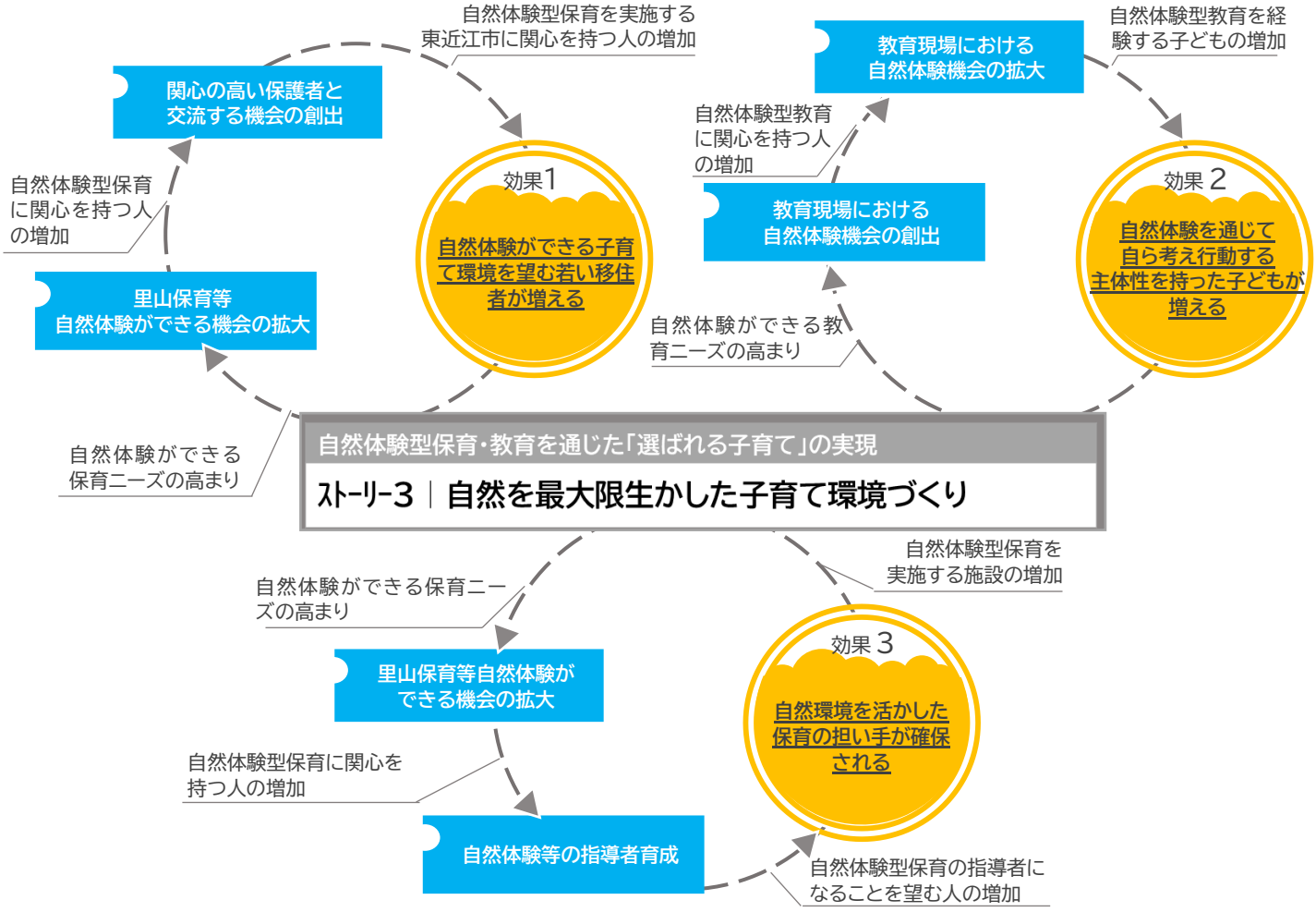
～自然体験型保育・教育を通じた「選ばれる子育て」の実現～

ストーリー３では、自然を最大限いかした子育て環境づくりにより、次の効果の実現を目指します。

【効果１】豊かな自然に触れる里山保育について、活動場所の拡大や活動回数を増やすなど、自然体験ができる機会の拡大や自然体験について関心が高い保護者同士が交流する機会を創出することで、自然体験ができる子育て環境を望む人の移住の増加を目指します。

【効果２】教育現場において自然体験の機会の創出・拡大により、自然体験型教育を経験出来る環境を整え、自ら考え行動する主体性を持った子どもの増加を目指します。

【効果３】子どもの自然体験ニーズは高まっている一方で、体験型活動の指導者や保育士が不足している実態がみられることから、自然体験型保育に関心を持つ人を増やし、東近江市で保育士等を目指す人材の確保を目指します。



主な取組

○森に人が集まる場所づくり	○森と自然の育ちと学び自治体ネットワークとの連携	○保幼小中高と連携した地域教育の推進
○関係機関と連携した愛知川に清流を取り戻す取組の実施	○東近江市エコツーリズム推進全体構想の策定	○東近江市 100 年の森づくりビジョンの推進
○移住推進ツアーの開催	○うみのこ、やまのこ、田んぼの学校の推進	○農家民泊等の実施支援
○伊庭の里湖事業	○菜の花エコプロジェクト推進事業	○やまの子キャンプ
○資源循環型社会づくりの推進	○里山保育等多様な保育の実施	○にぎわい里山づくり事業
○子育て支援施設への就業を希望する人材と施設のマッチングの機会づくり	○学童保育所の指導員研修の実施	○近江鉄道線の活性化と利便性向上の検討

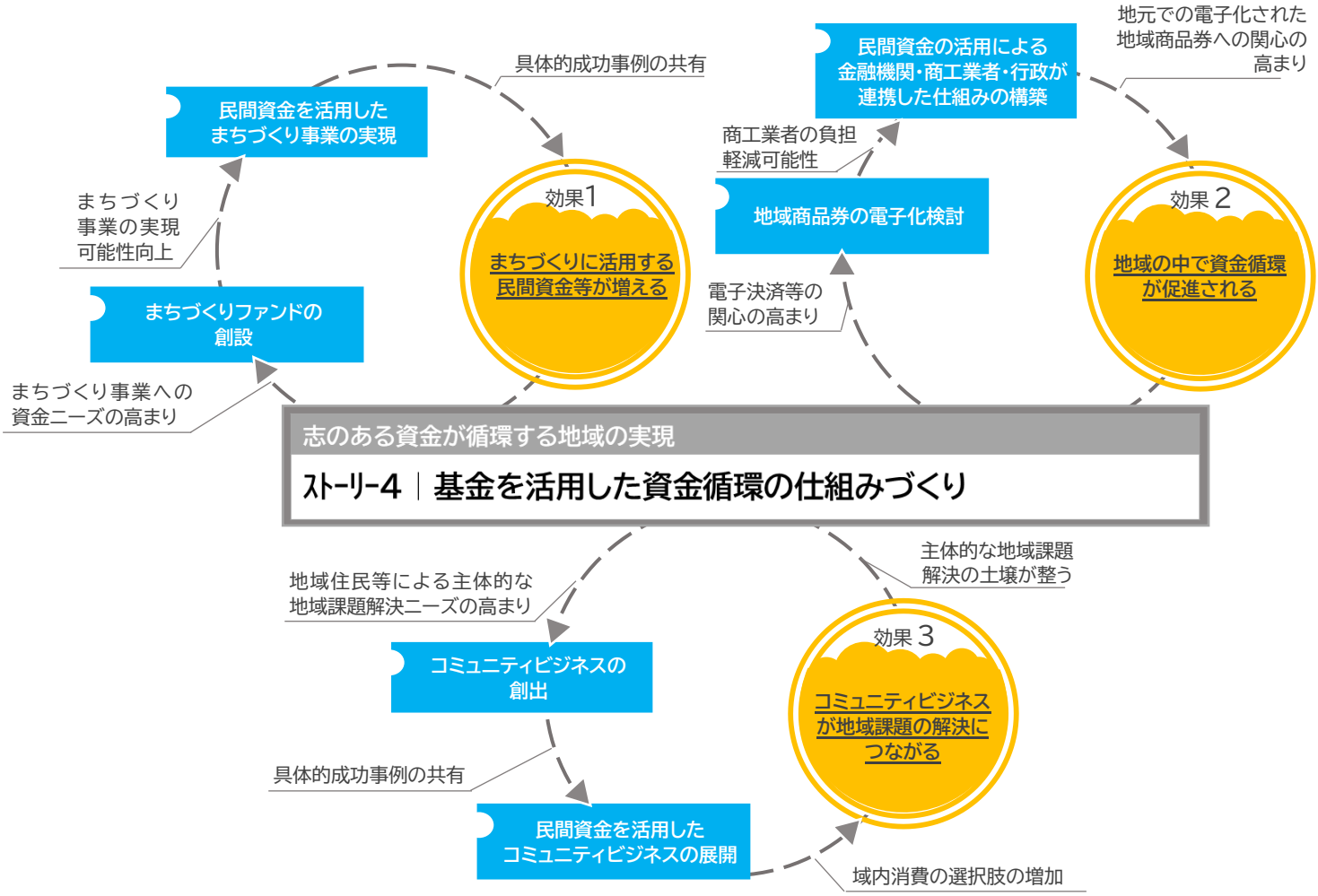
ストーリー４　志のある資金を活用した循環の仕組みづくり
～志のある資金が循環する地域の実現～

ストーリー４では、基金を活用した資金循環の仕組みづくりにより、次の効果の実現を目指します。

【効果１】市民、企業等による民間資金のまちづくり事業への活用の仕組みを創設し、まちづくり事業が実現し成功事例を発信することで、まちづくりを支援する民間資金等の増加を目指します。

【効果２】電子決済の普及が急速に進むことから、地域商品券の電子化等を検討するとともに、金融機関・商工業者・行政が連携し、電子マネー決裁の仕組みを構築するなど、地域内での資金循環の促進を目指します。

【効果３】地域課題の解決につながるコミュニティビジネスを創出し、民間資金を活用したコミュニティビジネスを展開することで地域課題の解決や地域の活性化を目指します。



主な取組

- ○三方よし基金を活用した空き店舗等での商店街の賑わいづくり
- ○コージェネレーションシステムの設置支援
- ○コミュニティビジネスの創出支援
- ○ポイント制度を活用した三方よし商品券の電子化検討
- ○金融機関・商工業者・行政が連携した電子決済プラットフォーム導入の検討
- ○三方よし商品券（地域商品券）の活用支援
- ○住宅用太陽光発電システムの設置支援
- ○歴史的資源を活用した分散型ホテルの整備
- ○新しい資金調達の仕組みの構築・PR（東近江三方よし基金）
- ○地域おこし協力隊の拡充
- ○地域づくり人材の育成
- ○東近江市版ＳＩＢの推進
- ○休眠預金の活用
- ○太陽熱温水器の設置支援
- ○地域リーダーの養成
- ○地域課題解決に向けた地域活動支援
- ○蓄電システムの設置支援
- ○民間事業者が連携した共同型インターンシップ制度の実施検討

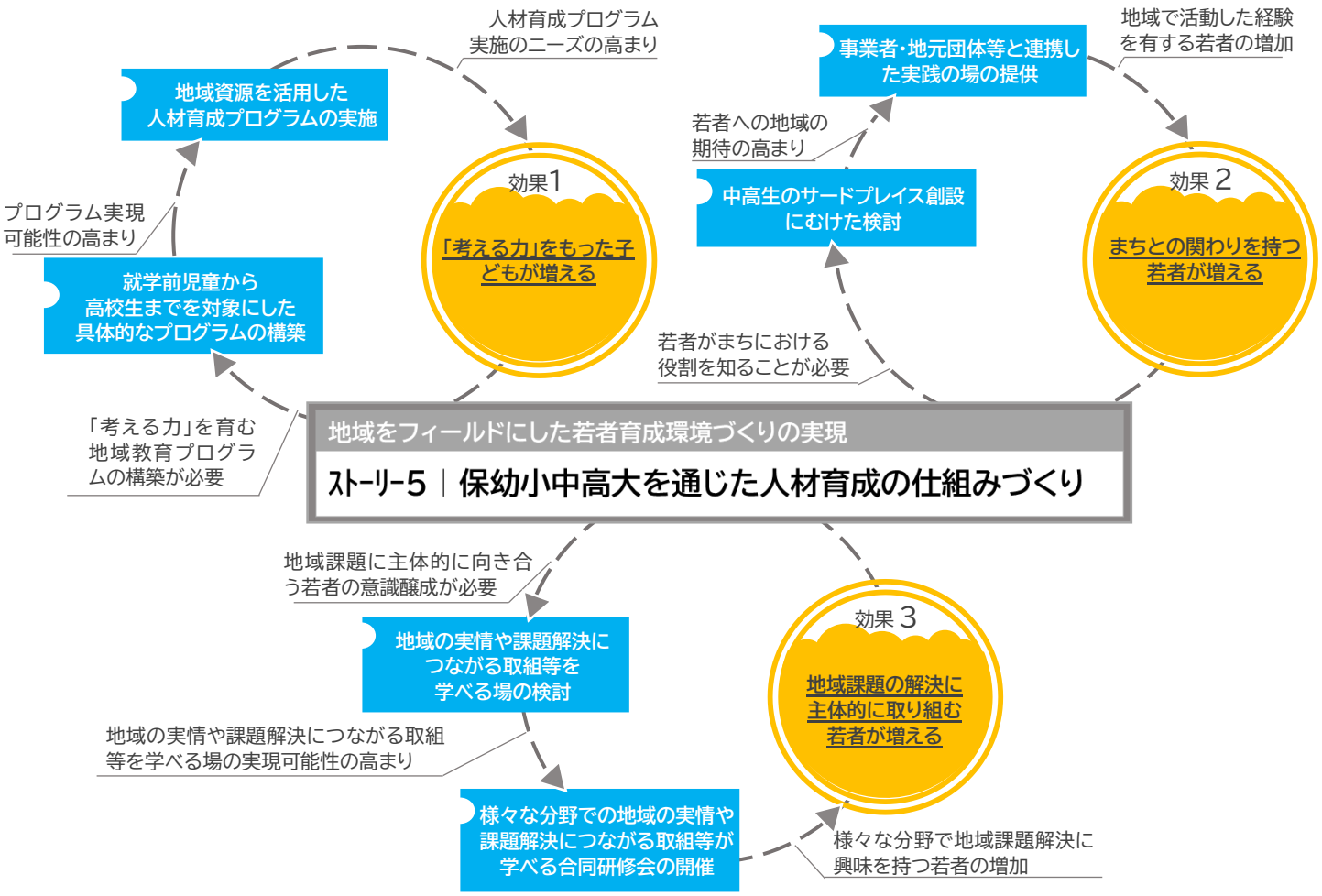
ストーリー５　保幼小中高大を通じた人材育成の仕組みづくり
～地域をフィールドにした若者育成環境づくりの実現～

ストーリー５では、保幼小中高大と世代を通じた人材育成の仕組みづくりにより、次の効果の実現を目指します。

【効果１】就学前児童から高校生を対象に、地域資源を活用した育成プログラムを構築・展開し、地域をフィールドに地域で考える力をもった子どもの増加を目指します。

【効果２】事業者や地元団体等と連携し、地域内での若者の居場所となるサードプレイスを創出し、まちと若者との接点を増やし、まちづくりに積極的に関わる若者の増加を目指します。

【効果３】地域の実情や課題解決につながる取組等を学べる場を創出し、地域の課題解決に主体的に取り組む若者が増加することを目指します。



主な取組

○コミュニティセンターの運営	○市内高等学校と連携した職業体験等の機会づくり	○地域学校協働本部事業の推進
○スポーツ団体やスポーツ選手の育成支援 ○まちづくり協議会の活動支援 ○各種事業の運営への若者の参加推進	○社会教育施設との連携推進 ○地域づくり人材の育成 ○地域リーダーの養成	○中間支援組織の活動強化に向けた支援 ○保幼小中高と連携した地域教育の推進 ○森に人が集まる場所づくり
○多分野合同研修プロジェクト	○地域課題解決に向けた地域活動支援	○子育て支援施設への就業を希望する人材と施設のマッチングの機会づくり
○経済団体等と連携した事業者と若い世代の交流の場づくり ○近江鉄道線の活性化と利便性向上の検討	○若い世代のためのサードプレイス創設支援	○里山保育等多様な保育の実施